

別表 2

特別支援教育に係る義務教育諸学校で平成 30 年度に使用する
教科用図書（一般図書）の調査研究する事項について

採 択 基 準	基 本 観 点	調 査 研 究 する 事 項
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	ア 教科の目標を達成するため、どのような内容が取り上げられているか。 イ 広く人権を尊重する観点に照らして適切であるか。
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達のためやす (2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	ア 発達のためやすに照らして、どの段階に使用できるか。 イ 障害の状態、発達段階及び特性などからみて、特にどういった点で適切しているか。
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮 (2) 自主性や創造性、思考力の育成	ア どのような生活経験領域が広められるか。 イ どのような興味・関心を高め、感動や意欲をよびおこす内容となっているか。 ウ 自主性や創造性を育て、表現力や思考力を高める内容であるか。
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性 (2) 全体の分量	ア 系統性を考えた場合に、次にどのような内容への発展が予想できるか。 イ 効果的に使用するのに、全体の分量はどの程度か。
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵 (2) 図表、写真等の資料	ア 挿絵が豊富で親しみやすく、色彩も豊かで効果的に表現されている。 イ 挿絵と文字の配分は、どのようであるか。 ウ 字体、文の長さは、どのようであるか。不正確なところはないか。 エ 図表、写真等の資料は、正確で適切であるか。
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど (2) 文字の大きさ、字間、行間 (3) 用紙、製本、表紙	ア 印刷は、鮮明で見やすいか。 イ 色刷りは、適切であるか。 ウ 文字や絵、図の配置は、内容の分かりやすさにつながっているか。 エ 文字の大きさ、字間、行間は、どのようになっているか。 オ 用紙、製本、表紙は、堅ろう性、安全性からみて配慮すべき点はないか。